

⑤ 卓 球

- (1) チームは監督の他、14名(男子7名・女子7名)とする。(重複不可)
- (2) 試合方法はリーグ戦とする。
- (3) 試合順序は、男子W → 女子W → 混合W → 混合W → 混合W とする。
- (4) 現行の公式ルールを採用する。

⑥ サッカー

- (1) チーム編成は、監督1名、選手20名以下とし、メンバー交代は、9名までとする。監督が選手を兼ねる場合は、必ず、選手登録されていることとする。一度退場した者は、再びその試合には出場できない。
- (2) 5町参加の場合、各町2試合ずつ対戦し、勝ち点によって順位を決定する。勝ち点と同じ場合は、得失点差により決定する。参加が4チームの場合は、トーナメントとする。
- (3) 試合時間は前半・後半各々25分とし、5分間のハーフタイムをとる。
- (4) 1チーム9名以上でチームとして認める。
- (5) 競技の開催については、原則、日本サッカー協会が定める『熱中症対策ガイドライン(2016年3月10日)』及び『熱中症ガイドライン<FAQ>(2016年6月16日改訂)』に準じて実施する。

⑦ 野 球

- (1) チームは監督以下20名以内とし、メンバーの変更は5名までとする。
但し、1回戦開始前までに文書をもって届け出をし、許可を得ること。それ以降の変更は認めない。
- (2) 試合方法はトーナメントとする。
- (3) 試合は7回とし、5回以降得点差が7点以上になった時はコールドとする。
- (4) 延長は9回までとし、1時間50分を経過した時は新しいイニングには入らない。
なおも勝敗が決しない時は、最終回の出場者どうしの抽選とする。
ただし、決勝について勝敗がつかない場合は、特別ルールを採用する。
- (5) 組み合わせ抽選は開催町をシードする。
- (6) 審判は各町で行う。

⑧ 柔 道

- (1) 試合出場選手は全日本柔道連盟へ競技者登録をしている者に限る。
- (2) チームは監督以下6名とし、当日のメンバーの変更は認める。
- (3) 審判規定は国際柔道連盟試合審判規定及び、本大会申し合わせ事項により行い、試合方法は、リーグ戦とする。
- (4) 試合時間は3分間とし、勝敗は勝ち本数の多い方とし、同じ場合は勝ち点の多い方とする。
それでも同じ場合は、代表者戦による2分間1回とし僅差判定とする。

⑨ 剣 道

- (1) チームは監督以下6名(先鋒・次鋒・中堅・副将・大将)とする。
- (2) 試合方法はリーグ戦とする。
- (3) 試合時間は3分間3本勝負とする。勝負の決しない時は引き分けとする。
- (4) 全試合終了した時点で勝率が同数の場合は、次の方法で順位を決定する。
① 勝者数 ② 勝本数
なお同率の場合は、代表戦を2分間1本勝負で勝負が決するまで行う。

⑩ バドミントン

- (1) チームは監督以下13名以内とする。 *最低参加人数 男子5名・女子5名
- (2) 試合方法は、各町2試合ずつ対戦し、勝ち点により順位を決定する。
勝ち点と同じ場合は、勝試合の数で決定し、勝数が同じ場合は、得失ゲーム数の差により決定する。
なお、同点の場合は、得失点差により決定する。
- (3) 試合順序は、男子 → 女子 → 混合 → 男子 → 女子 とする。(すべてダブルス)